

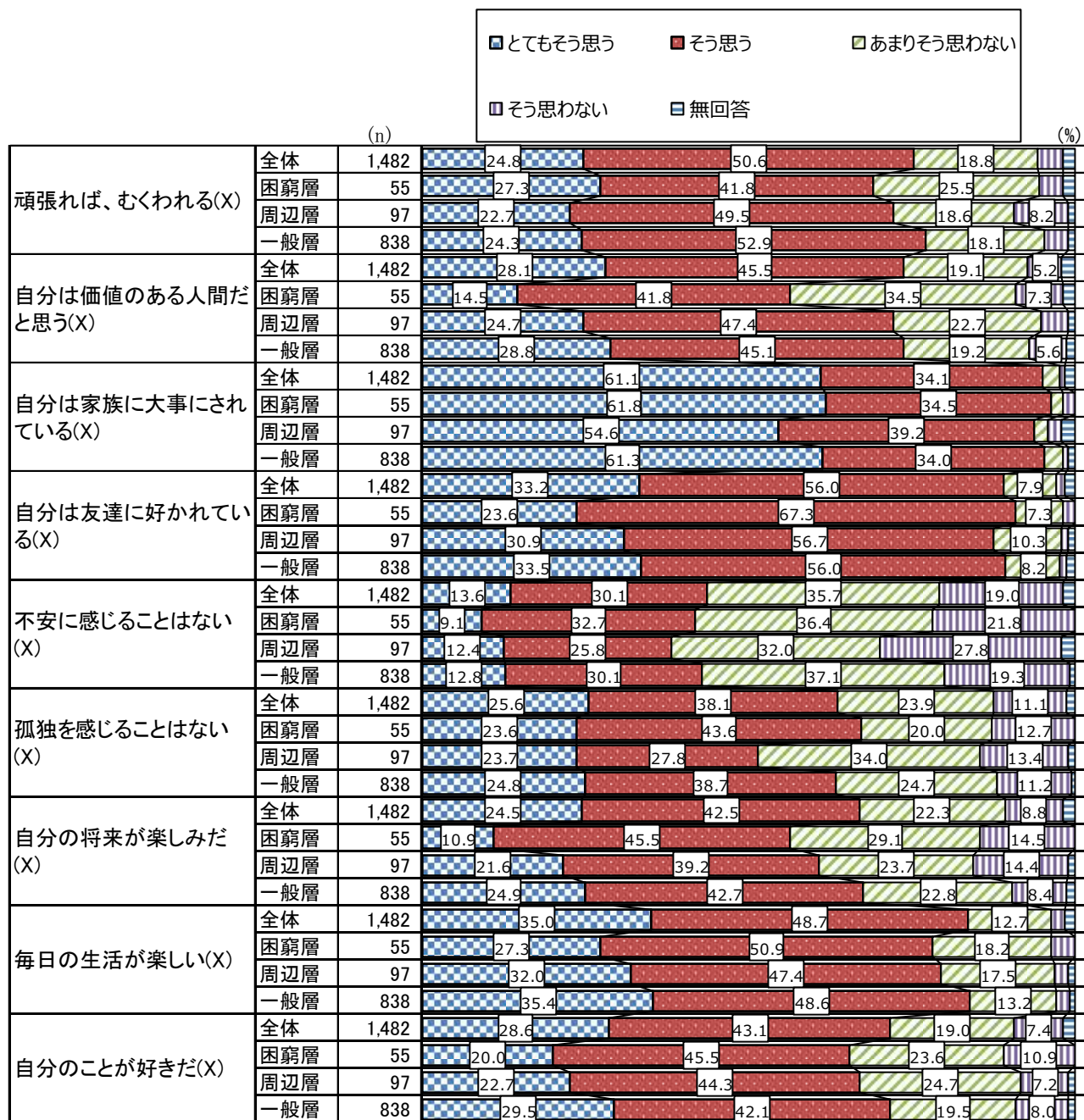
## 第8章 子どものころ

### 1. 自己肯定感

子どもの自己肯定感を、「頑張れば、むくわれる」「自分は価値のある人間だと思う」「自分は家族に大事にされている」「自分は友達に好かれている」「不安に感じることはない」「孤独を感じることはない」「自分の将来が楽しみだ」「毎日の生活が楽しい」「自分のことが好きだ」の9項目にどの程度当てはまると感じるかを聞くことで測った。その結果、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合は、「頑張れば、むくわれる」では75.4%、「自分は価値のある人間だと思う」では73.7%、「自分は家族に大事にされている」では95.1%、「自分は友達に好かれている」では89.2%、「不安に感じることはない」では43.7%、「孤独を感じることはない」では63.7%、「自分の将来が楽しみだ」では67.0%、「毎日の生活が楽しい」では83.7%、「自分のことが好きだ」では71.7%であった。

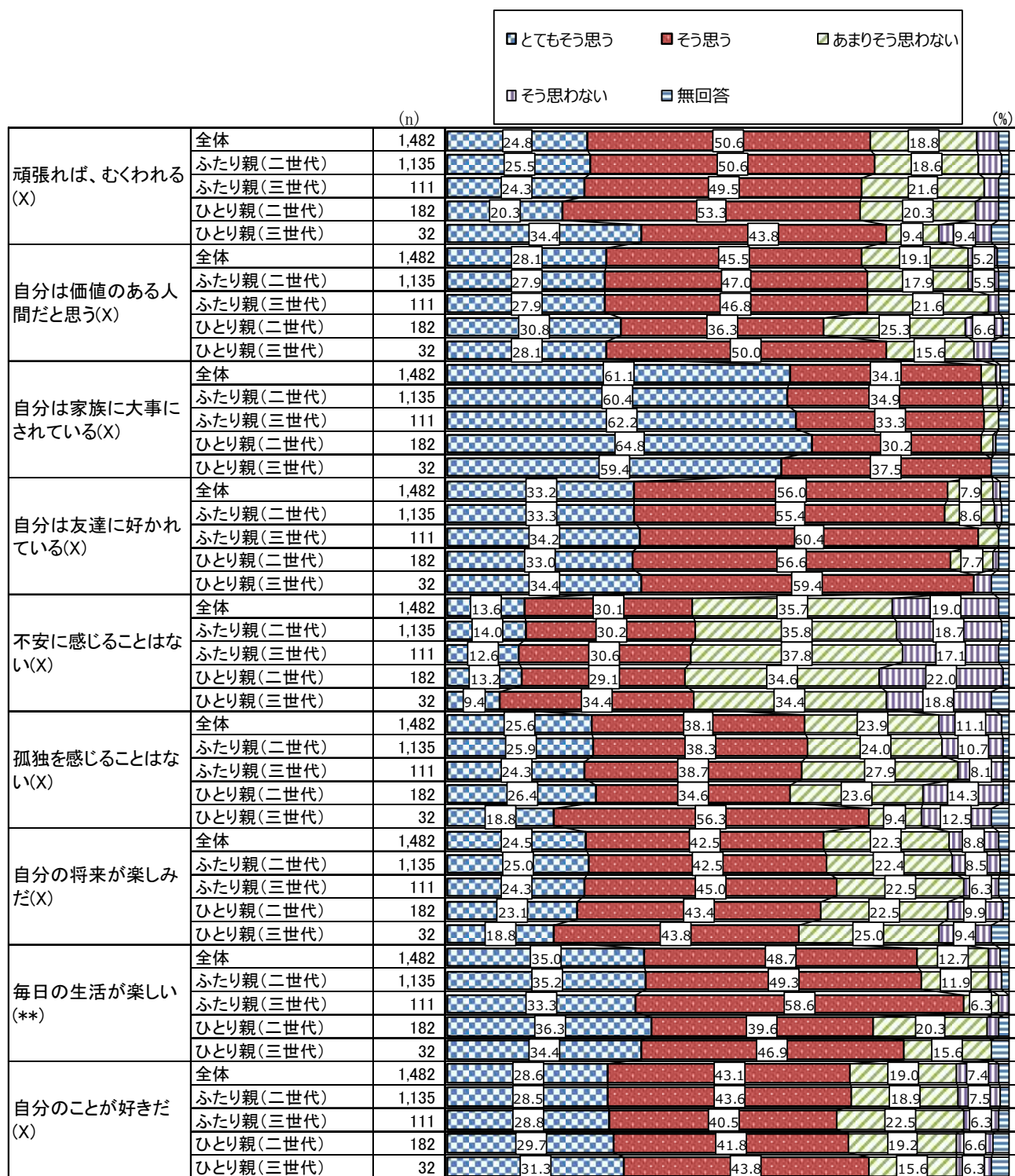
なお、世帯タイプ別では「毎日の生活が楽しい」にて統計的に有意な傾向が確認され、ふたり親（三世代）世帯の子どもにて、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合が全体と比較して多かったが、それ以外の項目では生活困難度別・世帯タイプ別の統計的に有意な傾向は確認されなかった。

図表 8-1-1 子どもの自己肯定感：全体、生活困難度別



※5.0%以下は値を省略している

図表 8-1-2 子どもの自己肯定感：全体、世帯タイプ別



※5.0%以下は値を省略している

図表 8-1-3 子どもの自己肯定感：全体、生活困難度別

		該当数	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
頑張れば、むくわれる (X)	全体	1,482 100.0	367 24.8	750 50.6	279 18.8	61 4.1	25 1.7
	困窮層	55 100.0	15 27.3	23 41.8	14 25.5	2 3.6	1 1.8
	周辺層	97 100.0	22 22.7	48 49.5	18 18.6	8 8.2	1 1.0
	一般層	838 100.0	204 24.3	443 52.9	152 18.1	31 3.7	8 1.0
自分とは価値のある人間 だと思おう(X)	全体	1,482 100.0	417 28.1	675 45.5	283 19.1	77 5.2	30 2.0
	困窮層	55 100.0	8 14.5	23 41.8	19 34.5	4 7.3	1 1.8
	周辺層	97 100.0	24 24.7	46 47.4	22 22.7	4 4.1	1 1.0
	一般層	838 100.0	241 28.8	378 45.1	161 19.2	47 5.6	11 1.3
自分は家族に大事に されている(X)	全体	1,482 100.0	905 61.1	505 34.1	38 2.6	11 0.7	23 1.6
	困窮層	55 100.0	34 61.8	19 34.5	1 1.8	1 1.8	0 0.0
	周辺層	97 100.0	53 54.6	38 39.2	2 2.1	2 2.1	2 2.1
	一般層	838 100.0	514 61.3	285 34.0	24 2.9	6 0.7	9 1.1
自分は友達に好かれて いる(X)	全体	1,482 100.0	492 33.2	830 56.0	117 7.9	19 1.3	24 1.6
	困窮層	55 100.0	13 23.6	37 67.3	4 7.3	1 1.8	0 0.0
	周辺層	97 100.0	30 30.9	55 56.7	10 10.3	1 1.0	1 1.0
	一般層	838 100.0	281 33.5	469 56.0	69 8.2	9 1.1	10 1.2
不安に感じることはな い(X)	全体	1,482 100.0	201 13.6	446 30.1	529 35.7	281 19.0	25 1.7
	困窮層	55 100.0	5 9.1	18 32.7	20 36.4	12 21.8	0 0.0
	周辺層	97 100.0	12 12.4	25 25.8	31 32.0	27 27.8	2 2.1
	一般層	838 100.0	107 12.8	252 30.1	311 37.1	162 19.3	6 0.7
孤独を感じることが はない(X)	全体	1,482 100.0	379 25.6	565 38.1	354 23.9	164 11.1	20 1.3
	困窮層	55 100.0	13 23.6	24 43.6	11 20.0	7 12.7	0 0.0
	周辺層	97 100.0	23 23.7	27 27.8	33 34.0	13 13.4	1 1.0
	一般層	838 100.0	208 24.8	324 38.7	207 24.7	94 11.2	5 0.6
自分の将来が楽しみだ (X)	全体	1,482 100.0	363 24.5	630 42.5	331 22.3	130 8.8	28 1.9
	困窮層	55 100.0	6 10.9	25 45.5	16 29.1	8 14.5	0 0.0
	周辺層	97 100.0	21 21.6	38 39.2	23 23.7	14 14.4	1 1.0
	一般層	838 100.0	209 24.9	358 42.7	191 22.8	70 8.4	10 1.2
毎日の生活が楽しい (X)	全体	1,482 100.0	519 35.0	721 48.7	188 12.7	32 2.2	22 1.5
	困窮層	55 100.0	15 27.3	28 50.9	10 18.2	2 3.6	0 0.0
	周辺層	97 100.0	31 32.0	46 47.4	17 17.5	2 2.1	1 1.0
	一般層	838 100.0	297 35.4	407 48.6	111 13.2	16 1.9	7 0.8
自分のことが好きだ (X)	全体	1,482 100.0	424 28.6	639 43.1	282 19.0	109 7.4	28 1.9
	困窮層	55 100.0	11 20.0	25 45.5	13 23.6	6 10.9	0 0.0
	周辺層	97 100.0	22 22.7	43 44.3	24 24.7	7 7.2	1 1.0
	一般層	838 100.0	247 29.5	353 42.1	163 19.5	67 8.0	8 1.0

図表 8-1-4 子どもの自己肯定感：全体、世帯タイプ別

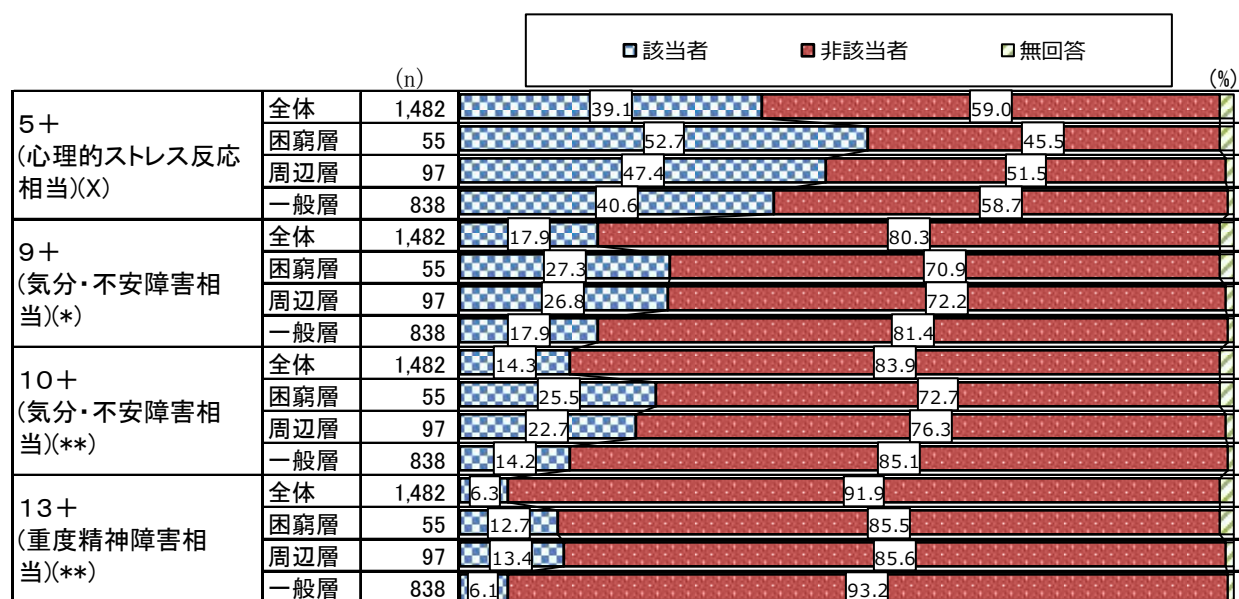
		該当数	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答			該当数	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
頑張れば、むくわれる (X)	全体	1,482 100.0	367 24.8	750 50.6	279 18.8	61 4.1	25 1.7	孤独を感じることはない (X)	全体	1,482 100.0	379 25.6	565 38.1	354 23.9	164 11.1	20 1.3
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	289 25.5	574 50.6	211 18.6	46 4.1	15 1.3		ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	294 25.9	435 38.3	272 24.0	122 10.7	12 1.1
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	27 24.3	55 49.5	24 21.6	3 2.7	2 1.8		ふたり親(三世帯)	111 100.0	27 24.3	43 38.7	31 27.9	9 8.1	1 0.9
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	37 20.3	97 53.3	37 20.3	8 4.4	3 1.6		ひとり親(二世帯)	182 100.0	48 26.4	63 34.6	43 23.6	26 14.3	2 1.1
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	11 34.4	14 43.8	3 9.4	3 9.4	1 3.1		ひとり親(三世帯)	32 100.0	6 18.8	18 56.3	3 9.4	4 12.5	1 3.1
	自分は価値のある人間だと思 う(X)	全体	1,482 100.0	417 28.1	675 45.5	283 19.1	77 5.2		30 2.0	自分の将来が楽しみだ(X)	全体	1,482 100.0	363 24.5	630 42.5	331 22.3
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	317 27.9	533 47.0	203 17.9	62 5.5	20 1.8	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	284 25.0	482 42.5	254 22.4	97 8.5	18 1.6	
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	31 27.9	52 46.8	24 21.6	2 1.8	2 1.8	ふたり親(三世帯)	111 100.0	27 24.3	50 45.0	25 22.5	7 6.3	2 1.8	
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	56 30.8	66 36.3	46 25.3	12 6.6	2 1.1	ひとり親(二世帯)	182 100.0	42 23.1	79 43.4	41 22.5	18 9.9	2 1.1	
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	9 28.1	16 50.0	5 15.6	1 3.1	1 3.1	ひとり親(三世帯)	32 100.0	6 18.8	14 43.8	8 25.0	3 9.4	1 3.1	
自分は家族に大事にされてい る(X)	全体	1,482 100.0	905 61.1	505 34.1	38 2.6	11 0.7	23 1.6	毎日の生活が楽しい(**)	全体	1,482 100.0	519 35.0	721 48.7	188 12.7	32 2.2	22 1.5
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	686 60.4	396 34.9	31 2.7	10 0.9	12 1.1		ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	400 35.2	559 49.3	135 11.9	26 2.3	15 1.3
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	69 62.2	37 33.3	3 2.7	0 0.0	2 1.8		ふたり親(三世帯)	111 100.0	37 33.3	65 58.6	7 6.3	2 1.8	0 0.0
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	118 64.8	55 30.2	4 2.2	1 0.5	4 2.2		ひとり親(二世帯)	182 100.0	66 36.3	72 39.6	37 20.3	4 2.2	3 1.6
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	19 59.4	12 37.5	0 0.0	0 0.0	1 3.1		ひとり親(三世帯)	32 100.0	11 34.4	15 46.9	5 15.6	0 0.0	1 3.1
	自分は友達に好かれている (X)	全体	1,482 100.0	492 33.2	830 56.0	117 7.9	19 1.3		24 1.6	自分のことが好きだ(X)	全体	1,482 100.0	424 28.6	639 43.1	282 19.0
ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	378 33.3	629 55.4	98 8.6	16 1.4	14 1.2	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	323 28.5		495 43.6	215 18.9	85 7.5	17 1.5	
ふたり親(三世帯)	111 100.0	38 34.2	67 60.4	4 3.6	0 0.0	2 1.8	ふたり親(三世帯)	111 100.0	32 28.8		45 40.5	25 22.5	7 6.3	2 1.8	
ひとり親(二世帯)	182 100.0	60 33.0	103 56.6	14 7.7	2 1.1	3 1.6	ひとり親(二世帯)	182 100.0	54 29.7		76 41.8	35 19.2	12 6.6	5 2.7	
ひとり親(三世帯)	32 100.0	11 34.4	19 59.4	0 0.0	1 3.1	1 3.1	ひとり親(三世帯)	32 100.0	10 31.3		14 43.8	5 15.6	2 6.3	1 3.1	
不安に感じることはない (X)	全体	1,482 100.0	201 13.6	446 30.1	529 35.7	281 19.0	25 1.7								
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	159 14.0	343 30.2	406 35.8	212 18.7	15 1.3								
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	14 12.6	34 30.6	42 37.8	19 17.1	2 1.8								
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	24 13.2	53 29.1	63 34.6	40 22.0	2 1.1								
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	3 9.4	11 34.4	11 34.4	6 18.8	1 3.1								

## 2. 子どもの抑うつ傾向

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をすることも骨折りだと感じましたか」「自分は価値がない人間だと感じましたか」の6つの質問について、「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」「全くない」の5段階で回答してもらい、各項目につき0～4点の点数をつけ、その合計点で抑うつ傾向を把握する「K6指標」を用いて、子どもの抑うつ傾向を測った。

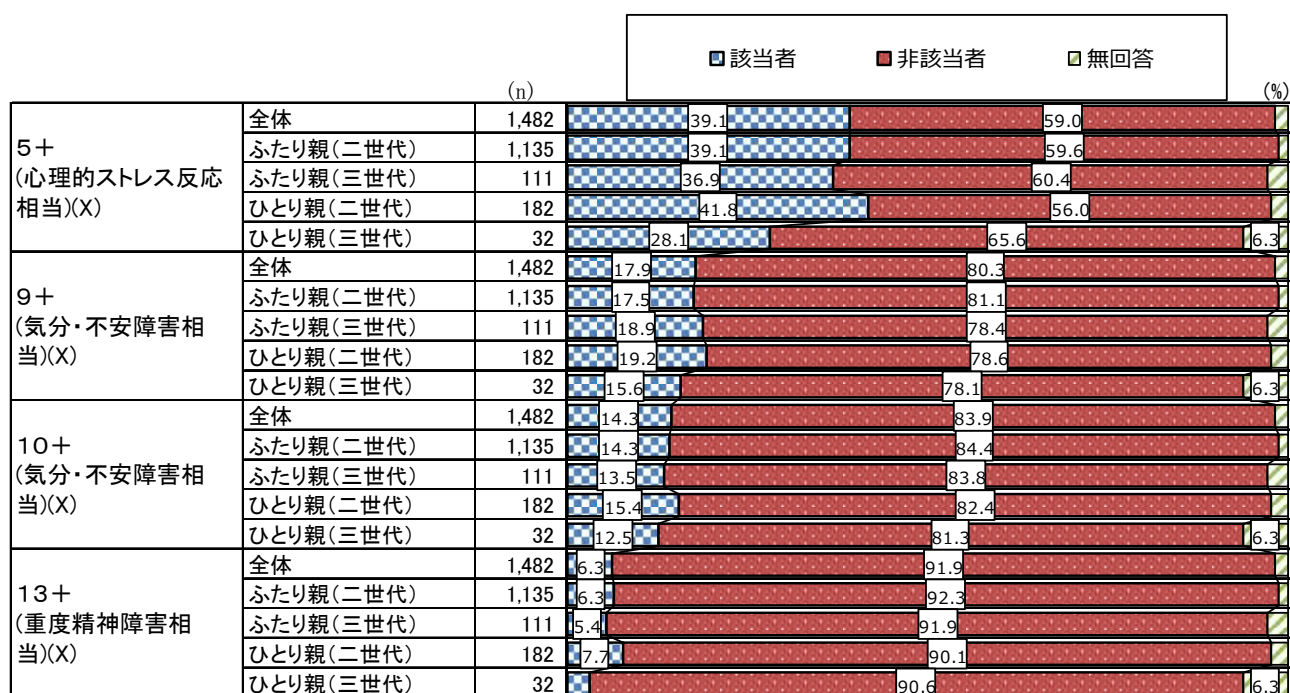
K6指標の得点では、5点以上（心理的ストレス反応相当）の子どもは39.1%、9点以上（気分・不安障害相当）の子どもは17.9%、10点以上（気分・不安障害相当）の子どもは14.3%、13点以上（重度精神障害相当）の子どもは6.3%となっている。生活困難度別に見ると、9点以上、10点以上、13点以上にて統計的に有意な傾向が確認され、9点以上は一般層では17.9%であったのに対し困窮層では27.3%、10点以上は一般層では14.2%であったのに対し困窮層では25.5%、13点以上は一般層では6.1%であったのに対し困窮層では12.7%にのぼった。一方で、世帯タイプ別には統計的に有意な傾向が確認されなかった。

図表 8-2-1 子どもの K6 指標の得点：全体、生活困難度別



※5.0%以下は値を省略している

図表 8-2-2 子どもの K6 指標の得点：全体、世帯タイプ別



※5.0%以下は値を省略している

図表 8-2-3 子どもの K6 指標：全体、生活困難度別

		該当数	該当者	非該当者	無回答
5 反 応 相 当 （ 心 理 的 ス ト レ ス ） （ X ）	全体	1,482 100.0	580 39.1	875 59.0	27 1.8
	困窮層	55 100.0	29 52.7	25 45.5	1 1.8
	周辺層	97 100.0	46 47.4	50 51.5	1 1.0
	一般層	838 100.0	340 40.6	492 58.7	6 0.7
9 相 当 （ 気 分 ・ 不 安 障 害 ） （ * ）	全体	1,482 100.0	265 17.9	1,190 80.3	27 1.8
	困窮層	55 100.0	15 27.3	39 70.9	1 1.8
	周辺層	97 100.0	26 26.8	70 72.2	1 1.0
	一般層	838 100.0	150 17.9	682 81.4	6 0.7
1 0 相 当 （ 気 分 ・ 不 安 障 害 ） （ * * ）	全体	1,482 100.0	212 14.3	1,243 83.9	27 1.8
	困窮層	55 100.0	14 25.5	40 72.7	1 1.8
	周辺層	97 100.0	22 22.7	74 76.3	1 1.0
	一般層	838 100.0	119 14.2	713 85.1	6 0.7
1 3 相 当 （ 重 度 精 神 障 害 ） （ * * * ）	全体	1,482 100.0	93 6.3	1,362 91.9	27 1.8
	困窮層	55 100.0	7 12.7	47 85.5	1 1.8
	周辺層	97 100.0	13 13.4	83 85.6	1 1.0
	一般層	838 100.0	51 6.1	781 93.2	6 0.7



図表 8-2-4 子どもの K6 指標：全体、世帯タイプ別

		該 当 数	該 当 者	非 該 当 者	無 回 答
5 + ( 心 理 的 ス ト レ ス 反 応 相 )	全体	1,482 100.0	580 39.1	875 59.0	27 1.8
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	444 39.1	676 59.6	15 1.3
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	41 36.9	67 60.4	3 2.7
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	76 41.8	102 56.0	4 2.2
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	9 28.1	21 65.6	2 6.3
9 + ( 気 分 ・ 不 安 障 害 相 )	全体	1,482 100.0	265 17.9	1,190 80.3	27 1.8
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	199 17.5	921 81.1	15 1.3
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	21 18.9	87 78.4	3 2.7
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	35 19.2	143 78.6	4 2.2
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	5 15.6	25 78.1	2 6.3
1 0 + ( 気 分 ・ 不 安 障 害 相 )	全体	1,482 100.0	212 14.3	1,243 83.9	27 1.8
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	162 14.3	958 84.4	15 1.3
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	15 13.5	93 83.8	3 2.7
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	28 15.4	150 82.4	4 2.2
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	4 12.5	26 81.3	2 6.3
1 3 + ( 重 度 精 神 障 害 相 )	全体	1,482 100.0	93 6.3	1,362 91.9	27 1.8
	ふたり親(二世帯)	1,135 100.0	72 6.3	1,048 92.3	15 1.3
	ふたり親(三世帯)	111 100.0	6 5.4	102 91.9	3 2.7
	ひとり親(二世帯)	182 100.0	14 7.7	164 90.1	4 2.2
	ひとり親(三世帯)	32 100.0	1 3.1	29 90.6	2 6.3

### 3. まとめ

#### (1) 自己肯定感

自己肯定感については、「がんばれば、むくわれると思う」「自分は価値がある人間だと思う」など 9 つの問いで聞いている。その結果、多くの子どもは肯定的な回答をしているものの、「頑張れば、むくわれる」「自分は価値のある人間だと思う」については 2 割強、「自分のことが好きだ」については 3 割弱、「自分の将来が楽しみだ」については 3 割強、「孤独を感じることはない」については 3 割半ば、「不安を感じることはない」については 5 割強が、それぞれそう思わないといった回答をしている（**図表 8-1-1**、**図表 8-1-3**）。

学術的には、自己肯定感は、「レジリエンス」（逆境に打ち勝っていく力）に関連することがわかっており、自己肯定感を高める要素としては、学力、友人関係、大人との関係などがあげられている。そのため、5 章で提言した学習支援事業などと共に、まずは、多くの他者（大人および子ども）と触れ合う機会を増やし、その際には、批判的・指導的なアプローチではなく、子どもの自己肯定感を高めることを念頭に置いたアプローチが有効であろう。

#### (2) 子どもの抑うつ傾向

抑うつ傾向については、子どもの 17.9%に抑うつ傾向が見られた。抑うつ傾向は、生活困難層において高い傾向が見られ、困窮層では 27.3%が抑うつ傾向にあった（**図表 8-2-1**、**図表 8-2-3**）。第 6 章にて相談事業について、一定のニーズが存在し、事業の周知が課題であると述べたが、このように一定数抑うつ傾向にある子どもが存在するという観点からも相談事業の認知度の向上等は重要である。